

#36 最旬リノベーション事情①

「しかたなく改修、から」 「ポジティブ・リノベ、へ。」



壁や床の傷みが目立ってきたり、浴室やキッチン設備に古さを感じるようになったり…。

暮らしのキャリアを重ねるとともに、住み慣れたわが家にもメンテナンスが必要になるものです。

そして住まいの性能や機能は年々進歩しており、ここ10年でも住まいがもたらす快適さはずいぶん違ってきているのも事実です。

リフォーム・リノベーションと言えば、以前は老朽化した住まいを「しかたなく改修する。」といったケースが主流でしたが、

近年は今よりもっと暮らしの心地よさ・楽しさを高める「ポジティブ・リノベ。」を行なう家族が増えてきています。

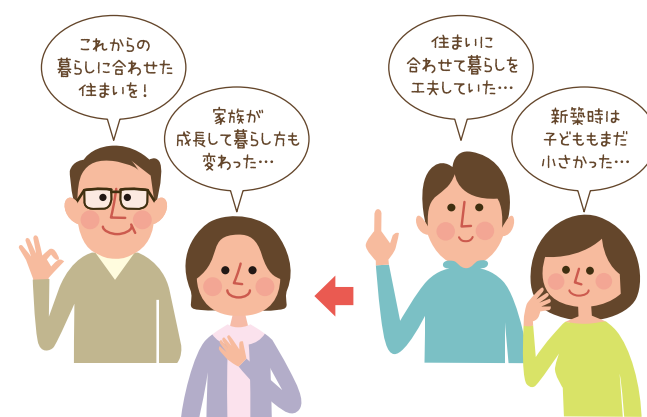
そこで今号と次号の2回にわたって、積水ハウス・住生活研究所の研究ノウハウをベースに最旬リノベ情報をお届けします。

自分たちらしく、 今も将来も快適に。

古くなったし、傷みも気になるから何とかしなくっちゃ…。キッチンや浴室、洗面化粧台といった水まわり設備を一新するだけでも、暮らしの快適さや便利さは大きく違ってきます。

そんな設備一新がリノベを考え始めるきっかけになったという方は多いのですが、同時に「自分たちらしい暮らし方」に目を向けてリノベ実施を決定されるケースも少なくありません。

たとえば「キッチン設備だけを新しくするつもりだったけれど、以前と食事の仕方が違ってきているからクロードスタイルをオープンキッチンにリノベしよう」「浴室・洗面を入れ替えるなら、同時に家事動線を見直せばもっと自分たちの暮らし方にマッチするかも」など、単なる設備更新から理想の暮らし方へとイメージを膨らませる家族



■空室となる子ども部屋をさまざまにリノベ活用



趣味を本格的に楽しむなら独立スペースが理想。専念しやすく趣味仲間も気軽に招待。



間取りを変更して子ども部屋をリビングに取り込めば、憧れのホームシアターも実現可能。



在宅ワークの機会が増えれば、わが家で仕事に集中できるスペースが必要になることも。

ポジティブ・リノベの ベストタイミングは?

では、実際にリノベを行なう場合、ベストなタイミングというのはあるのでしょうか。水まわり設備の入れ替え時期で言えば新

が増えてきています。実際にリノベを考え始める時期は新築時から年数を経ていて、暮らし方も変化しています。さらに将来の家族像や生活シーンもイメージしやすくなっているので、わが家の理想のカたちもはっきりと描けると言えるでしょう。

大規模なリノベをするなら住み替えを検討するという選択肢もあります。ただ「住み慣れた住まいで、今も将来も自分たちらしく快適に暮らす」というリノベが、わが家の理想像実現への早道なのではないでしょうか。

築から15〜25年程度を経た頃が多いようすが使い方や暮らしの考え方によっても違ってきます。

ただ、設備機器の進歩は目まぐるしく、わずか5年でも快適さや便利さは格段に向上しています。どうしようもなくなるまで我慢するより、少し早めにリフレッシュして最新機能で暮らし心地を高めるほうが得策という考え方もあります。

また、その頃には壁クロスや傷みや汚れが目立つようになっており、同時にインテリアのイメージチェンジを行なうのも良いでしょう。

そして、もうひとつ大きなタイミングがライフステージの変化時期です。子どもの進学や独立など、家族の暮らし方が大きく変わる機会に合わせてリノベを検討するのがおすすめです。

特に子どもが独立する場合は、空室となる子ども部屋を有効活用しやすくなるのが

健康、快適・便利、私らしさ。 最旬テーマは大きく3つ。

わが家をどんな風に変えて、どのような暮らしを楽しもうか。リノベの計画は家族の夢や暮らしの憧れを最大限に広げることから始まります。

ポイント。間取りを変更してリビング・ダイニングを広くしたり、本格的に趣味を楽しむホールームやアトリエ、在宅ワークの仕事部屋に用途変更するなど、理想の暮らし方を実現する絶好の機会にもなります。どのタイミングでもリノベで大切なのは、早めに検討をスタートすることです。時間に余裕があったほうがプランニング自体がじっくりと練れますし、実際の工事期間も都合に合わせて設定しやすくなります。実はこの余裕の確保こそ、リノベ成功のカギを握っているのです。